様式第１号（閲覧規程第２条）

令和２年３月３１日

宮古市議会議長　古　舘　章　秀　　様

宮古市議会議員　　落　合　久　三　㊞

令和元年度宮古市議会政務活動費収支報告書

宮古市議会政務活動費の交付に関する条例第５条の規定により、令和元年度の政務活動費の収支を別紙のとおり提出します。

岩手県
宮古市議会
-2. 3. 31
第　号
収受

別紙

1　収入

政務活動費　　１５０，０００円

2　支出

（単位：円）

科　目	金　額	備　考
研究研修費	—	
調査旅費	９１，１５１	【行政視察】㈱ＮＥＲＣ（自然エネルギー研究センター）の取り組みについて他
資料作成費	—	
資料購入費	—	
広報費	—	
広聴費	—	
その他の経費	—	
合計	９１，１５１	

注：備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

3　残額　　５８，８４９　円

落合　久三

宮古市議会政務活動費支払明細書

項目	内容	金額	摘要
調査旅費	（1）【行政視察】 ・㈱ＮＥＲＣ(自然エネルギー研究センター)の取り組みについて（10/16　北海道札幌市） ・芦別市の木質バイオマスの取り組みについて（10/16　北海道芦別市） ・ウッドファイバー㈱の取り組みについて（10/17　北海道苫小牧市）		
	交通費　航空運賃（花巻～札幌　往復）	50,740 円	
	交通費　貸切マイクロバス（札幌～芦別～苫小牧）　1	14,240 円	按分による支出①（一括請求）
	有料道路通行料金（札幌～滝川　往復）　2	930 円	
	有料道路通行料金（札幌～苫小牧）　3	335 円	
	燃料代　ガソリン（貸切バス）　4	1,202 円	
	交通費　ＪＲ（新千歳空港～札幌）	1,150 円	
	交通費　ＪＲ（苫小牧～南千歳）	640 円	
	タクシー代（10/17　南千歳駅～ウッドファイバー㈱）	478 円	按分による支出②
	タクシー代（10/17　ウッドファイバー㈱～南千歳駅）	640 円	按分による支出③
	燃料代　ガソリン（自家用車　宮古～花巻空港）	514 円	按分による支出④
	宿泊代（10/15　１泊　札幌市）	6,600 円	
	宿泊代（10/16　１泊　苫小牧市）	5,182 円	按分による支出⑤領収書は一括。個別に宿泊証明書あり
	食事代（10/15 昼食）	1,520 円	
	食事代（10/15 夕食）	3,000 円	按分による支出⑥
	食事代（10/16 夕食）	3,000 円	按分による支出⑦
	食事代（10/17 昼食980円）	980 円	
	研究研修費　計	**91,151 円**	
合　　計		**91,151 円**	

項　目	調査旅費

個別支払　3の1枚目

【行政視察】（株）ＮＥＲＣ（自然エネルギー研究センター）の取り組みについて　他

領収書等貼付欄　※別紙あり

領収書
RECEIPT

[redacted]

下記の金額正に領収致しました。
RECEIVED FROM　オチアイ キュウゾウ　様

THE SUM OF　¥50，740－（税込）(TAX INCLD.)

印紙税申告納付につき品川税務署承認済

但し運賃・料金として
IN PAYMENT OF AIR FARE-FREIGHT

航空券番号 TICKET NUMBER	[redacted]
関連航空券番号 OTHERS	**************
発券日 DATE OF ISSUE	2019年09月21日
備考 REMARKS	クレジット(TS)　¥50,740

発行：日本航空株式会社　HNAPT　　2019年10月15日

ご搭乗券
BOARDING PASS

OTIAI KYUUZOU様　030

行先 DESTINATION　札幌／千歳 SAPPORO NEW CHITOSE
便名 FLIGHT　JAL2832　普通席

搭乗口 GATE	出発時刻 DEP.TIME	搭乗日 DATE	座席 SEAT
2	14:55	2019 10/15	12A

運航 Operation J-AIR

保安検査場／搭乗口でバーコードをかざしてください。
SCAN THE BARCODE AT SECURITY CHECK AND GATE.

[redacted]

保安検査場は１５分前までに通過してください。

ETKT
YLARTZO

領収書
ご利用日付　2019年10月15日
時刻　16時00分
取引内容　乗車券　金1150円
伝票番号　04073
・この領収書は大切に保存してください。
・毎度ありがとうございます。
新千歳空港　券機04発行
JR北海道

領収書
ご利用日付　2019年10月17日
時刻　09時14分
取引内容　乗車券　金640円
伝票番号　61455
・この領収書は大切に保存してください。
・毎度ありがとうございます。
苫小牧駅券売機02発行
JR北海道

BOARDING CERTIFICATE
搭 乗 証 明 書

JAL
'20.4.06
OSAKA
JNV CC

JAPAN AIRLINES

2020/4/6

To Whom It May Concern:
関 係 各 位

This is to certify that undermentioned passenger was aboard the Japan Airlines flight as stated below.
以下のとおりご搭乗いただきましたことを証明いたします。

Passenger Name:
旅 客 氏 名

OTIAI/KYUUZOU 様

Carrier 航空会社	Flight No. 便 名	Class クラス	Departure Date 搭 乗 日	Portion 区 間
JL	2832	Y	2019/10/15	From: 花巻 To: 札幌/新千歳
JL	2839	Y	2019/10/17	From: 札幌/新千歳 To: 花巻

JAPAN AIRLINES
日本航空株式会社

[redacted]

項　目	調査旅費

個別支払　3の2枚目

【行政視察】（株）ＮＥＲＣ（自然エネルギー研究センター）の取り組みについて　他

領収書等貼付欄

領収書
RECEIPT

〒060-0806
北海道札幌市北区北六条西1-4-3
TEL 011-728-1045　FAX 011-728-1046
東横INN札幌駅北口

お名前　OTIAI KYUUZOU 様

客室番号(ROOM No.)	人数(PERSONS)	ご到着(ARRIVAL)	ご出発(DEPARTURE)	備考(REMARKS)
0505	1	19.10.15	19.10.16	

日付(DATE)	摘要(EXPLANATION)	料金(CHARGE)	お支払(PAYMENT)	残高(BALANCE)
10.15	預り現金		6,600	
	宿泊料	6,600		0
	小計(SUBTOTAL)	6,600	6,600	

ご署名 SIGNATURE	
会社名 FIRM	

収入印紙

ご請求額 AMOUNT DUE	0
現金	

内消費税
INNER TAX　600(税 10%)

C/O-No. 20482-1-01　19/10/16
C/O-CD 24

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。
Thank you for your stay with us.
May we have the pleasure of serving you again.

公式HP予約が最安値!! 最大¥400 OFF!!
オンラインカード決済で すいすいチェックイ

項 目	調査旅費

個別支払　3の3枚目

【行政視察】（株）ＮＥＲＣ（自然エネルギー研究センター）の取り組みについて　他

領収書等貼付欄

道の駅 遠野 風の丘
岩手県遠野市綾織町新里8-2-1
TEL 0198-62-0888

営業時間 8：00から19：00

2019年10月15日(火)13:03 #000007
009007レジ7　7222

0401 蕎麦振舞い　¥1,520

小計　¥1,520
(外税10%対象額　¥1,520)
(内税額　10%　¥138)
買上点数　1点

合計　¥1,520
お預り　¥1,520
(内消費税等　¥138)
お釣り　¥0

外8、内8マークは軽減税率対象です

麺処 白樺山荘
TEL0123-45-7575

ご利用ありがとうございます。
またのご来店をお待ちしております

2019年10月17日(木) 13:50 No:0525

0000000000004
0001味噌大盛　内　¥980

小　計　¥980
内税１０％売上　10.00%　¥980
内税１０％税額　10.00%　¥89
合計　¥９８０
(内消費税等　¥89)

お預り　¥1,000
(消費税等　¥89)
お釣り　¥２０

A20191017052519O8A

※は軽減税率対象品目

責No:0000000[redacted]
取引No1908　1点買

按分による支出額一覧

項目
【行政視察】㈱NERC（自然エネルギー研究センター）の取り組みについて　他
参加者：田中尚※　落合久三　竹花邦彦　藤原光昭　坂本悦夫　畠山茂　　計６名

参加者別　按分額　　単位:円

項目	支出額	田中	落合	竹花	藤原	坂本	畠山
①-1	85,440	14,240	14,240	14,240	14,240	14,240	14,240
①-2	5,580	930	930	930	930	930	930
①-3	2,010	335	335	335	335	335	335
①-4	7,215	1,205	1,202	1,202	1,202	1,202	1,202
②	2,870	480	478	478	478	478	478
③	3,840	640	640	640	640	640	640
④	3,087	517	514	514	514	514	514
⑤	31,092	5,182	5,182	5,182	5,182	5,182	5,182
⑥	18,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
⑦	18,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000

注）※印の参加者が会計責任者。
　　領収書など証拠書類の原本は、会計責任者の収支報告書に添付。

政務活動費による報告書（行政視察）

令和２年３月３０日

宮古市議会議長　古舘章秀様

宮古市議会議員　落合久三 （落合）

政務活動費による行政視察報告書

政務活動費により行政視察を行いましたので、下記の通り報告します。

記

●視察月日

○日　程　令和元年１０月１５日～１７日（火～木）

○場　所　１０月１６日（水）北海道札幌市・㈱ＮＥＲＣ。芦別市・バイオマス開発協同組合

１０月１７日（木）苫小牧市・木の繊維苫小牧工場

視察目的　①再生可能エネルギーによる地域内経済循環施策

②木質バイオマス活用事例と今後の課題

③木質繊維および関連製品の製造販売について

○参加議員　落合久三、田中尚、藤原光昭、坂本悦夫、竹花邦彦、畠山茂（計６名）

●視察報告

所感　**①～再生可能エネルギーによる地域内経済循環施策**

説明者：大友詔雄氏（㈱ＮＥＲＣ代表取締役センター長）

㈱ＮＥＲＣは１９９９年北海道大学ベンチャー企業として設立され、自然エネルギーによる地域社会の構築、自然エネルギーが生み出す地域雇用を目的としたさまざまな取り組みを展開してきた。

そのために１）どこの地域にもある自然エネルギーを活用する。２）同時に地域には固有性があり、その固有性を生かした展開を研究する。３）そのためにはＮＥＲＣだけでなく関連する産業、技術との連携を図るためセンター機能を果たす、としてきた。

岩手県 宮古市議会 －2.3.30 第　号 収受

以上を踏まえ実際に取り組んできたことは、１）仕事（雇用）を創り出すこと。２）自然エネルギー生産工場をつくる。事業化・産業化しないと展開しない。３）生産技術の「産業財産権」を確保する、である。

そうした視点で、道内60市町村、道外10市町村と自然エネルギー活用を軸とした地域計画策定を進めてきた。またその延長で自然エネルギー生産工場を創出してきた。木質繊維断熱材工場、木質ペレット生産工場（道内17)、木質チップ生産工場（道内10)、薪生産工場（道内1)。さらに農畜産残渣物（メタン利用）を利用した工場建設、肥料化の工場建設などを進めてきた。

これらを推進する要とも言える燃焼機器（ボイラー）製造工場を作り、先進国ドイツのボイラー製造企業と連携し、ボイラー製造、特許申請で財産権保存などを推進している。

そもそも地域内にある未活用の資源エネルギーをどう掘り起し事業化するか。それを地域の産業、雇用創出に結び付けていくか。そうした視点で地域内資源の利活用を具体化し、事業化した、生きた経験を学ぶことができ宮古地域において具体化するうえで大いに参考とすべきと痛感した。

●視察報告

所感　　②～芦別市の木質バイオマス活用実例。事業の成果と課題

説明者：水野元春氏（芦別市農林課長)、吉井忠（芦別木質バイオマス開発協同組合理事長）

芦別市は２０１０年２月に「地域新エネルギービジョン」を策定。市内に残る新エネルギーの賦存量と利用可能量を比較し、導入可能性を検討。７つの重点（水力、太陽光・風力、木質バイオ等）プロジェクトのうち市の面積の８８％を占める森林面積に着目。「緑の分権改革推進事業」として総務省に計画を提案し採択される。

賦存量は年間２万7000㌧、利用可能量は年間3300㌧。これの活用のために２０１２年１２月に「木質バイオ開発協同組合」を地元建設業、製材業、素材生産業者など６社で立ち上げ、チップ生産の工場事業化に踏み出した。従来の重油を使ったボイラー熱量供給体制を分析し、チップによる熱供給に切り替え

るボイラー（ドイツ製）２基を設置し、「健民センター」（スターライトホテル）に供給し始めた。他方で「開発協同組合」は施設整備費 6340 万円（半分は総務省の補助）で林地残材のストックヤード、自走式破砕機、トラックスケールなどを整備。

木質ボイラーの経済的効果は、重油換算で８６３万円の節約が見込めましたが、この間重油単価が㍑あたり７８円から５０円に引き下がり、効果がなくなった。市はこの新エネ事業を存続させるために 1700 万円の補助をしている。

森林面積が約９０％の芦別市のこの経験は、未知数のことを含んでいるとはいえ、地域内循環型経済を考えるうえで生きた事例として大いに検討に値すると痛感した。

●視察報告

所感　　　　③～木質繊維および関連製品の製造販売

説明者：水野領介氏（ウッドファイバー㈱代表取締役社長）、堀正臣氏（　〃　工場長）

苫小牧市にあるこのウッドファイバー㈱の沿革は、平成 19 年に㈱木の繊維が創業し、21 年に工場をつくり製品の製造出荷を始めました。今回訪ねたウッドファイバー㈱は 29 年に設立し、30 年に㈱木の繊維からこの生産設備と事業を承継した。

木質繊維断熱材の諸特性は世界一の環境・再生エネルギー先進国ドイツのホーマテルム社で開発製造されたもので、そのライセンス（免許）提携により日本の苫小牧市（植苗地区）で初めての生産工場が造られた。

木質断熱材の特性は木であることに由来します。①二酸化炭素（ＣＯ２）削減に貢献。生産に要するエネルギーが他に比べて少なく、地球温暖化緩和に貢献。②木を繊維にするためホルムアルデヒトやＶＯＣ（揮発性化合物）の発生を押さえシックハウス対策にいいことが実証済みです。素手で触れても手触りがやさしいため建設業者に優しく、住む人にも安心してもらえます。③製造中に出る廃棄物はわずかで、しかも燃料になり、使用後は土に戻るため廃棄物を出しません。④隙間なく施工できるので断熱性能が向上し、省エネに貢献する。

この蓄熱性はグラスウール断熱材と比較すると約７倍で、熱をダムのように貯めこみます。⑤比熱が大きく密度も高いので熱容量が高く、熱緩和現象を活用して冬暖かく、夏涼しいといえます。⑥通気性・調湿度があり、住む人に快適な住環境を提供出来ます。⑦高密度性に加え木の多孔質性、木質繊維の柔軟性の高い構造で吸音性・防音性・遮音性に優れています（千歳空港からの飛行機の離発着音が遮断されている)。⑧「燃えやすいのでは」との心配については、バーナーで火を放つと表層が炭化するだけで、延焼しないことが実証済みです。従来のグラスウールやポリスチレンフォームは火が貫通し、ガラス繊維が500℃前後で溶融し、周辺がえぐれます。

取引先は、住宅建設の際のコスト面はどうか。前述したとおり平成21年度から製品製造・出荷を始め、訪ねたウッドファイバー㈱が事業を承継したのは30年度からです。取引先は伊藤忠建材㈱、住友林業㈱、双日建材㈱、巴産業㈱、ナイス㈱、宮古でも南洋建材㈱１社が取引している。

次の関心事は、事業化の上でコスト、販売・提携先の確保等が見込めるかどうか。宮古の建設資材㈱や市民の需要も生まれつつあります。「従来の断熱材よりはたしかに割高だが、住宅建設費総額に占める断熱材費は数％であり、それほどの負担増とは考えられない」とは建設関係者の共通した意見です。

宮古市内の南洋建材㈱の社員は「いい家にしたい、という気持ちを通わせ満足度の高い住まいが出来た」とホームページで述べています。また実際にこの断熱材を使い家を建てた市内のＳさんご夫妻は、モデルハウスを見て一目ぼれし、奥さん専用の部屋で好きな手芸を楽しんでいる、と紹介されている。

ウッドファイバー㈱の福田氏は「あちこちから視察が来ています。森林面積が広大な同じような条件下の自治体や建築業界の方々が、関心を寄せています。ぜひ宮古にも広げて欲しい」と話している。

材木業界や森林所有者、住宅建築業界との意見交換で情報共有を 宮古市では大震災前から、地域木材を利用し住宅を建てた方に補助金を支給する等、地域木材利用を重視してきた。

今回の視察を踏まえ、主伐利用間伐材や未利用間伐材を生かした事業化は、今日の宮古市の掲げる構想とも合致できるものと確信した。

以上